



長崎県内のため池データベース整備の事例について紹介します

(1/2)

今回紹介する団体： 長崎県、市町、水土里ネット長崎

取組概要

内容： 平成25年度に県内ため池の一斉点検業務（農村地域防災減災事業）を実施しており、調査対象ため池のデータベースの整備を行い、水土里情報システムへ登録し管理。

- 経緯： ①大規模な地震等の自然災害による被災を未然に防止するため、ため池一斉点検を通じて施設の現状を把握するとともに決壊危険度や周辺への影響度を確認し、今後のため池の効率的かつ重点的な防災・減災対策をたてることを目的とし、県内約1000ヶ所（受益2ha以上）の点検に着手。
- ②市町でため池台帳等を整備されている市町と整備されていない市町が混在していることや市町によっては台帳が古く、ため池諸元等が不明確なものが多数存在していた。
- ③今回、一斉点検を実施したことによりため池の把握、諸元の確認等ができたこと、また、県内で統一したデータベースとして整備し、水土里情報システムへ登録することで県、各市町等との情報共有ができ、管理面でも一元管理が図れる。

調査時に撮影したため池状況写真等を格納

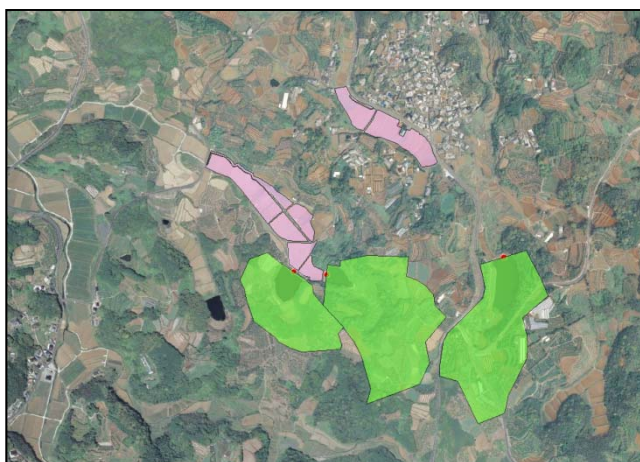
| 属性 | 値 |
|----------------|--------------|
| コード番号 | 422030012 |
| 名称 | 古里地蔵池 |
| 読み | ふるやちためいけ |
| 所在地 | 長崎市有明町 |
| 緯度 | 32°59'29" |
| 経度 | 130°18'21" |
| 管理団体名称 | 水利組合 |
| 代表者名(連絡先) | |
| 築池年 | 不明 |
| 築池年代 | 江戸時代 |
| 形式(堰体) | 均一型 |
| 形式(水路) | 水路流入型 |
| 材質(水路) | 石砌 |
| 断面(水路) | 10.75m b1.1m |
| 形式(貯水施設) | 貯水池 |
| 形式(底床) | H2Oカット懸立 |
| 防除事業(防除管理) | 灌漑事業 |
| 堰体との位置関係(説明書) | 近隣に無 |
| 農家のアクセス | 農住隣接所 |
| 既日最大雨量(mm) | 482 |
| 既日最大雨量(訂正)(mm) | 104 |
| 位置(表) | 5% |
| 貯水位 | 1m未満 |
| 堰体式下 | 無し |
| 堰体クラック | 無し |
| 堰体漏水 | 無し |
| 法面傾斜 | 無し |
| 堰体分みだし | 無し |
| 堰体深さ(m) | 3.00000 |
| 長さ(m) | 4.50000 |
| 貯水量(m) | 45.30000 |
| 貯水量(千m3) | 0.00000 |
| 堤防面積(km2) | 0.12500 |
| 高水面積(km2) | 0.00300 |
| かんがい受益面積(ha) | 8.60000 |

点検後に整備した諸元等の必要事項を属性として登録。

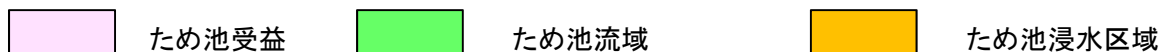
期待される効果

- ① 県内統一したデータベースとして整備できたことにより関係機関等(県・市町)で情報共有ができる。
- ② 点検結果のみでなく、受益図、流域図、浸水想定区域図等も登録している為、今後の改修に向けた整備計画策定業務等での活用が期待できる。

【ため池受益・流域図】



【ため池浸水区域図】



今後の活用予定

- ① 小規模ため池の点検及びデータベースを整備し、水土里情報システムへ登録することにより今後の施設点検等での活用を図る
- ② ため池基本計画策定業務への活用
- ③ 地域防災計画(ハザードマップ)作成業務での活用

■お問い合わせ先

長崎県土地改良事業団体連合会 総務部会員支援課 095-823-3101(代表)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、溝添) 03-6744-2212(直通)